

広報 2013年 No.37



なが 119

特集

那賀消防組合各種訓練を紹介

～災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりのために～

P2. 第11回 集団救急事故総合訓練実施!!

P3. 那賀消防各訓練紹介

P4. 火災は最初の消火が大事

P5. 命を守るために知ってほしい特別警報

P6. 消防ホットニュース 平成24年消防白書・病院案内

P8. 平成25年度防災ひとづくり事業 各部門優秀賞受賞者・作品紹介

消防出初式案内・消防プレゼントクイズ



那賀消防組合消防本部

第11回集団救急事故総合訓練実施!!



和歌山県において近い将来発生が予想される大規模な地震により、当管内でも多数の被害と負傷者が出たとの想定で、平成25年9月14日（土）岩出市大宮緑地総合運動公園にて第11回集団救急事故総合訓練を行いました。那賀振興局や岩出警察署、岩出市役所、公立那賀病院（DMAT）、岩出市消防団、那賀消防など各関係機関から約149人が参加しました。

この訓練は、各関係機関と連携のもと、合同部隊の指揮や運営を始め負傷者の救出救助及び救護等の協力体制を構築し、迅速かつ的確な有事即応体制の充実強化を図る事を目的として実施しました。

瓦礫及び狭所からの救出訓練では瓦礫を削岩機・エンジンカッターなどを使い救出（右下写真）、多重衝突事故の閉じ込めからの救出ではDMAT（災害時派遣医療チーム）を要請して連携のもと救出にあたりました（左下写真）。

また、現場近くに救護所を設置し「息は出来ますか?」「どこか痛みますか?」と呼びかけ、酸素マスクをつけたり、止血などの応急処置を行いました（上写真）。



救助訓練実施!!



毎年消防本部北側訓練場では4月中旬から救助訓練をする消防士の姿がみられます。

この救助訓練は、救助技術の高度化に必要な基礎的要素を練磨することを通じて、消防救助活動に不可欠な体力、気力、技術力を養うことを目的として実施し、毎年行われる救助大会に出場します。

引揚げ救助(写真下)は、地下やマンホール等からの救出を想定した訓練です。また、障害突破(写真左)は、隊員が一致団結して5つの障害を突破する訓練で大会の花形種目であり、全種目の要素が含まれた訓練です。



障害突破



引揚げ救助

機関員技術 向上訓練

向上訓練



平成25年7月31日(水)から8月2日(金)に機関員技術向上訓練を実施しました。

車両の特性を理解し、安全な運転技術の練磨を図るとともに、検証を通じて個々の技術レベルを引き上げ、確実・安全な運転技能を向上させることを目的として行いました。訓練内容は消防車や救助工作車などを使用する鋭角走行やスラローム走行訓練などです。



スラローム走行訓練



鋭角走行訓練

検索訓練



潜水隊訓練!!



紀の川市貴志川町井ノ口にある諸井橋上流で潜水隊の訓練を行いました。資機材取扱い訓練や検索訓練など潜水隊の技術向上を目的として、毎年実施しています。

那賀消防では1年を通して様々な訓練を行い、技術の向上や若い世代の育成に努めています。

これからも、市民の方々の日々の安心安全を守るべく、努力をしていきたいと思っています。



火災は最初の消火が大事!

平成 25 年 3 月 27 日（水）岩出市で発生した建物火災で通りかかった市民の方々の初期消火で大火を防ぐことができました。（詳しくは P6 の消防ホットニュースで掲載）そこで、初期消火に効果抜群な消火器について紹介しましょう。

使用方法

いざという時に使えるようにしっかり覚えましょう！



維持と管理

日頃からのお手入れが大切です！

消火器は雨水のかかるような湿気の多い場所には置かないようにし日常的に点検を行いましょう。また、すぐに持ち出せる場所に設置しましょう。

- *安全ピンはついているか。
- *本体容器やキャップに錆や腐食、変形はないか。
- *ホースに詰まりやひび割れがないか。
- *圧力を示す針が規定値内であるか。

こんな消火器は危険です!



使用期限について

新しく販売されているものには、使用期間や使用期限が記載されています。業務用消火器はおおむね 10 年で、住宅用消火器は、おおむね 5 年です。

※住宅用消火器は薬剤の詰め替えができない構造となっています。

< 業務用消火器について >

消火器の破裂事故の発生等から点検基準が改正され、2011 年 4 月 1 日より製造から 10 年が経過した消火器に対する水圧点検が義務付けられ、以降 3 年ごとの水圧点検が必要となります。また、2011 年 1 月 1 日から消火器の規格省令が改正されたことにより、2012 年 1 月 1 日に改正前基準の消火器は型式失効になります。

特例として、すでに設置されている消火器は、2021 年 12 月 31 日まで継続して設置可能です。

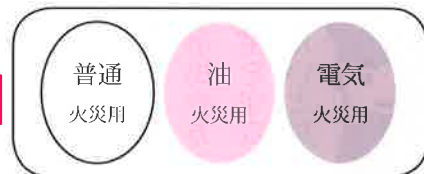


改正後の絵表示（新基準の業務用消火器）



新規格の消火器は上記の絵表示になりました。

改正



旧規格の絵表示です。



命を守るために知ってほしい特別警報



気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発令して警戒を呼びかけていました。これに加え、今後は、この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大級の警戒を呼び掛けます。

特別警報に相当する過去の災害

特別警報が対象とする現象は、東日本大震災における大津波や、我が国の観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成 23 年台風第 12 号」の豪雨等が該当します。



(東日本大震災)






(台風第 12 号)

今年 9 月の「台風 18 号」では、京都府、滋賀県、福井県に初めての特別警報が発表されました。

特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

災害から身を守るために (大雨の場合)

<p>大雨になるおそれ 雨が降り出す</p>	<p>普段から… 気象情報・空の変化に注意！ ・ 周りより低い場所など、危険箇所を把握しておく ・ 避難場所や避難ルートを確認しておく</p>	
<p>注意報</p>	<p>雨が強くなると… 最新の情報に注意して災害に備えた早めの準備を 雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動！ ・ 気象情報や外の様子に注意 ・ 避難場所や避難ルートを確認しておく ・ 災害に備えて、家の外の備えを点検する</p>	
<p>警報</p>	<p>大雨が降り続くと・・・ 自治体が発令する避難に関する情報に注意し 必要に応じ速やかに避難</p> <p>ポイント 特別警報が発表されていなくても早め早めの行動を！</p>	
<p>さらに激しい大雨が続くと…</p> <p>特別警報</p>	<p>ただちに命を守る行動をとる 市町村からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難！！ 外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動</p> <p>ポイント 冷静な判断が大切です。周囲の状況に応じた行動を！！</p>	

※普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります！

Fire fighting HOT NEWS 消防ホットニュース

★世代を超えた連携プレイで火災を防ぐ!! 感謝状贈呈★



平成25年3月27日（水）に岩出市で発生した建物火災で、通りかかった藤本里奈さん（小学5年生）が火災を発見し、齋藤亮輔さんが119番通報、齋藤亮輔さん、大西哲夫さんが、消火器等を使用して初期消火を行い、ボヤで消し止めました。消防隊到着時は鎮火状態で、早期の発見、迅速な119番通報との確かな初期消火、世代を超えた連携プレイが功を奏し大火を防ぐことができました。

平成25年5月7日（火）那賀消防組合消防本部消防長室において感謝状を贈呈しました。

（左から 藤本里奈さん 齋藤亮輔さん 大西哲夫さん）

★来館者8万人達成!!★



防災センターでは、市民の防火・防災・救急教育の研修施設として、平成5年6月に開館して以来、多くの皆様方に講習会や体験学習の場として利用していただいています。この度、平成25年5月20日に来館者8万人を達成しました。

この日、8万人目で入館したのは、しらゆり保育園の年長児16名。消防のヘルメットで作ったくす玉を割り、記念式典では、子どもたちに記念品を贈りました。

★紀の川市新入団員訓練指導★



消防団は地域に密着した多面的な活動が期待され「自らの郷土は自ら護る」という郷土愛精神を基調として、昼夜を問わず地域防災の中核たる重要な任務遂行に努めています。

そこで平成25年4月21日（日）紀の川市の桃山勤労者体育センターにおいて、紀の川市消防団の新人団員に対し、訓練礼式やホース延長、放水訓練を実施しました。

消防白書

火災のよつす

平成24年中の紀の川市、岩出市で発生した火災は29件で、2人の死者と4人の負傷者が発生し、火災損害額は1億7千120万4千円でした。これを前年と比較すると、火災は10件の増加ですが損害額は2億5千283万7千円の減少となっています。火災種別では建物火災が19件と最も多く、その他火災が6件、車両火災は4件となっています。

平成24年 火災出動件数

		紀の川市	岩出市	合計
建物	件数	10件	9件	19件
	焼損面積	1,017㎡	389㎡	1,406㎡
車両	件数	3件	1件	4件
	焼損車両	3台	1台	4台
その他	件数	4件	2件	6件
	焼損面積	43㎡	0㎡	43㎡
計	件数	17件	12件	29件
	損害金額	1億5,067万9千円	2,052万5千円	1億7,120万4千円

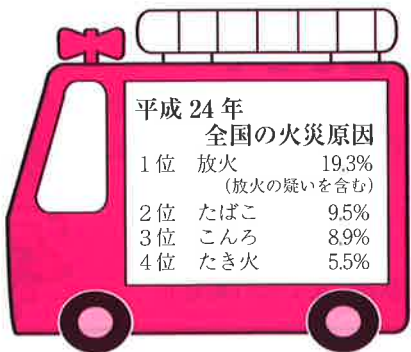
統計上の火災件数は29件

ですが、ひとつ間違えれば火災となる軽微な災害への

出動が130件ありました。

次に出火率（人口1万人当たりの出火件数）は2.41件で全国平均の3.9件に比べ約1.5ポイント少なくなっています。

なお、今月9月までの火災件数は21件で、前年同時期より3件増加しています。



これからの季節、火を取り扱う機会が多くなると思いますが、火の元には十分な注意をお願いします。



★那賀高校で防災スクール開催★



平成25年7月10日(水) 県立那賀高校において防災スクールが開催されました。那賀高校の職員および生徒をはじめ、小学校の児童、地域住民のたくさんの方々が参加されました。消防や警察、自衛隊といった公的機関と連携し避難訓練や炊事訓練、搬送訓練や普通救命講習などを行いました。災害が起これば公的機関による救助や支援には限界があるため多くの地域住民の協力が大きな力となります。

★子ども防災博士意見発表会開催★



平成25年8月20日(火) 紀の川市打田生涯学習センターで管内の全小学校22校から推薦された6年生の児童が防火・防災について自分の思いや考えを発表しました。今年、地震だけでなく水害や台風をテーマにした作品もあり、実際に体験したことや家庭での対策など取り入れていました。そして、子ども達は緊張しながらも自分の思いを言葉にのせ発表していました。

那賀消防組合 ニューフェイス6人誕生



【写真】後列左から和佐、堂西、杉浦
前列左から里村、瀧川、奥野

★和佐 句記

誠実で、人として温かみのある消防士になります。

★堂西 克弥

市民に笑顔を与える消防士を目指します。

★杉浦 唯司

市民に期待され信頼されるように日々努力します。

★里村 光哉

日々の努力を忘れず頭と体を鍛え、信頼される消防士を目指します。

★瀧川 大登

日々感謝の気持ちを忘れず、市民の役に立てる消防士を目指します。

★奥野 威玖

市民の安全を守る事ができる消防士を目指します。

救急・救助のようす

平成24年中の救急出動件数は4,800件で、過去10年間で最多となり、前年に比べ149件増加し、1日平均13.2件の出動となりました。紀の川市および岩出市の市民26人に一人が搬送されたこととなります。

次に、重傷者を搬送するドクターヘリの要請件数は33件で前年に比べ2件の減少となりました。

また、救助出動

件数は78件で前年と比較して9件減少し救出者数は54人でした。



平成24年 救急・救助出動件数

	紀の川市	岩出市	管外	合計
救急出動件数				
急病	1,726	1,223	0	2,949
交通事故	367	292	2	661
一般負傷	346	255	0	601
その他	368	221	0	589
合計	2,807	1,991	2	4,800
救助出動件数				
交通事故	28	8	1	37
火災	7	12	0	19
機械事故	1	2	0	3
その他	9	10	0	19
合計	45	32	1	78

病院案内

日曜、休日等の診療が可能な医療機関等を次に記載してありますので切り取ってご利用ください。

▼和歌山県救急医療情報センター
Tel.073・426・1199

24時間体制で最寄りの医療機関を案内します。

▼那賀休日急患診療所
Tel.0736・77・6410

日曜日、祝日及び年末年始診療可
午前9時～午後4時30分

▼和歌山市夜間休日急患診療センター
Tel.073・425・8181

休日 午前10時～午後5時
夜間 午後8時～午前6時

ただし、主曜、休日の夜間は午後7時～午前6時

▼子ども救急相談ダイヤル
Tel.073・431・8000

毎日午後7時～午後11時
専門の看護師が相談に応じます。

▼和歌山市歯科休日急患診療センター
Tel.073・428・3588

休日 午前10時～午後5時

※これらの問い合わせは、
119番を使用せず、一般加入電話
Tel.0736・61・1791

(通信指令課)
にかけるようお願いいたします。

平成25年度防災ひとづくり事業
「写生画・ポスター・標語・意見発表」優秀賞受賞者

消防車・救急車写生画の部

【最優秀賞】

東貴志保育所 森 幸也



【優秀賞】

中貴志保育所 新田 聖夾
山崎保育所 赤坂 昊成
和歌山中央幼稚園 木近 仁穂

子ども防災博士意見発表会の部

【最優秀賞】

根来小学校 鈴木 咲葵

題名「大地震から身を守るために」

【優秀賞】

粉河小学校 國友 結希

題名「本気で防災について考える」

防火・防災ポスターの部

【最優秀賞】

山崎小学校 西岡 風優



【優秀賞】

田中小学校 林 真帆
山崎北小学校 奥野 葵也
中央小学校 松本 昂也

防火標語の部

【最優秀賞】

かつらぎ町 藪本 尚生

一年中

いつも心に

火の用心

【優秀賞】

紀の川市 森 啓造
紀の川市 栗本 健
岩出市 上田 喜代子

救急車は正しく利用しましょう!!



ここ数年、毎年救急出動が増加しています。限られた台数しかない救急車を緊急性がないのに要請すると1分1秒を争う生命の危険がある急病人やケガ人への対応が遅くなる恐れがあります。今一度、救急車の適正利用について考え、市民の皆様方のご理解、ご協力をよろしく願います。

Q消防プレゼントクイズ

本誌を読んでカッコに当てはまる言葉と、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見、ご感想を官製はがきにご記入の上、左記へお送りください。正解者の中から抽選により20名様に景品を差しあげます。

問題

数十年に一度の豪雨や暴風、豪雪などが予想され、広範囲で甚大な被害が出るおそれのある場合に気象庁が新たに出す「○○○」の運用が平成25年8月30日午前0時から始まりました。

応募先

〒649-6215

岩出市中迫154番地

那賀消防組合（防災センター）

応募締め切り

平成26年1月31日当日消印有効

発表は景品の発送をもって、かえさせていただきます。

ご応募いただいた内容については那賀消防組合で適切に管理し、第三者に開示することは致しません。

ただちに命を守る行動をとしましょう!



那賀消防組合消防出初式

★とき 平成26年1月12日(日)
午後1時00分から(予定)

★ところ 紀の川市桃山町段
桃山グラウンド

出初式では救助訓練披露や一斉放水、各種展示体験コーナー、幼年消防クラブによる防火演習を予定していますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

